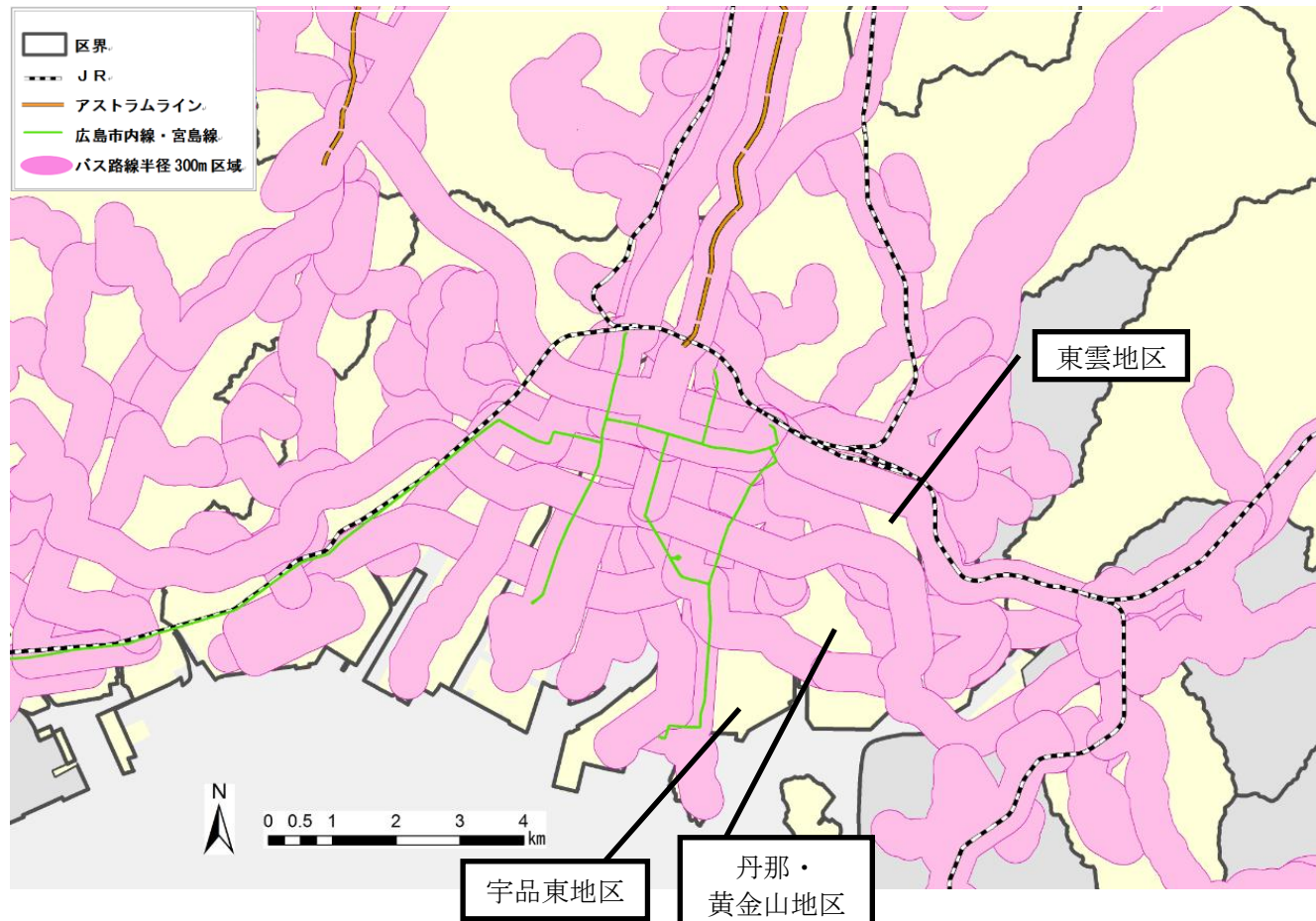
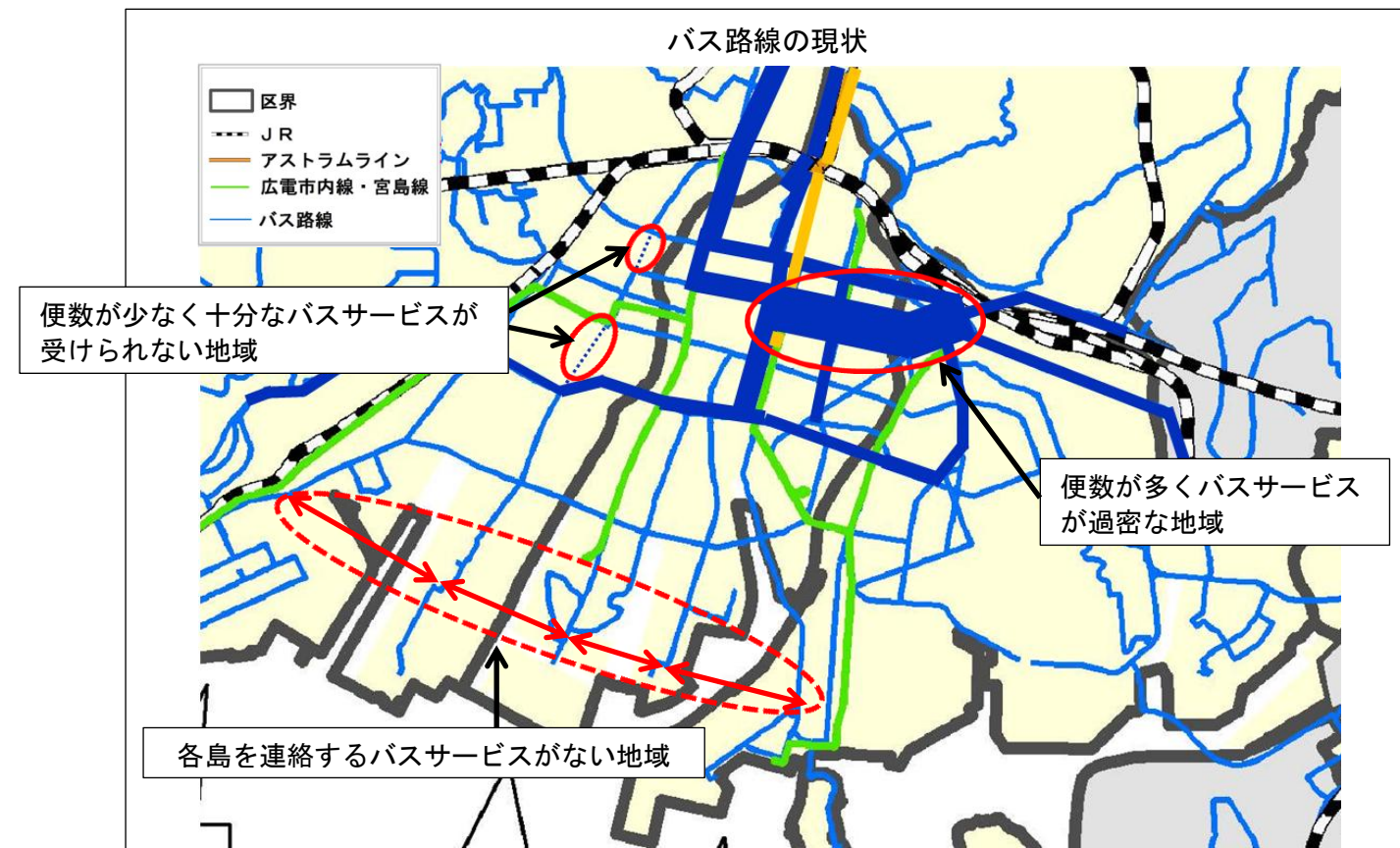


デルタ市街地間のバス空白地区



※一部乗合タクシーが運行



(4) 持続可能な生活交通の確保

特に高齢化が急速に進展している団地等において、十分なバスサービスが提供されていない状況がある。

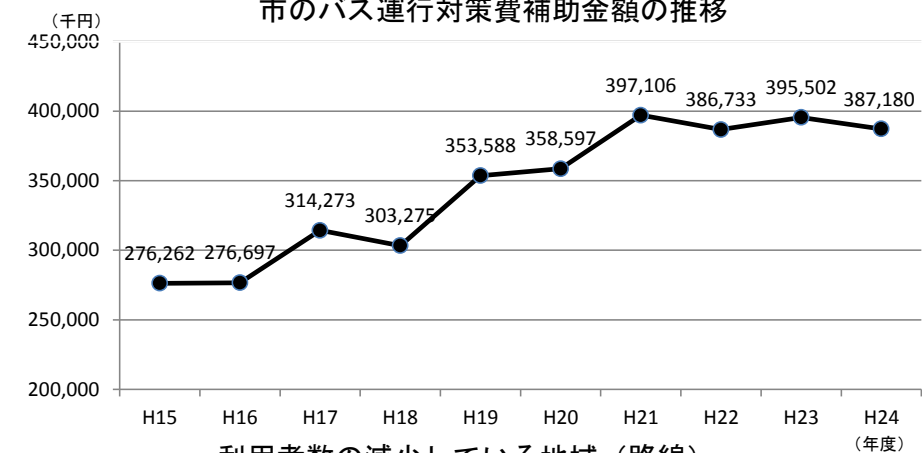
また、行政における補助額は増加傾向にあり、本市では、バス路線によっては、利用者が近年において激減しており、補助額が増加するひとつの要因となっている。

さらに、基幹交通ネットワークである鉄軌道等へのフィーダーバスは、ダイヤの連絡性、乗継利便性などが十分とはいえない状況となっている。

住宅団地における路線バスの導入状況

区分	団地数	面積
バス路線が有る団地	91 団地 ( 54%)	2,935ha ( 75%)
バス路線が無い団地	78 団地 ( 46%)	974ha ( 25%)
計	169 団地 (100%)	3,909ha (100%)

市のバス運行対策費補助金額の推移



利用者数の減少している地域 (路線)

区分	H16	H24	増減率
白木 (上井原・鳥井原-新玖村橋)	80,200人	52,253人	△34.8%
飯室 (安佐営業所・くすのき台-大原駅)	91,571人	51,127人	△44.2%
筒瀬 (あさひが丘下・筒瀬-八木小学校)	3,756人	434人	△88.4%

